

# 命の水を守り、つなぐために

私たちが、毎日当たり前に使っている水道水は、地球上のわずかな水を利用して作られています。そして、その水は、水循環といわれる自然のサイクルによって守られています。

昔から、水不足に悩まされてきた土地だからこそ、命の水を守り、つなぐために私たちにできることがあるのではないのでしょうか。



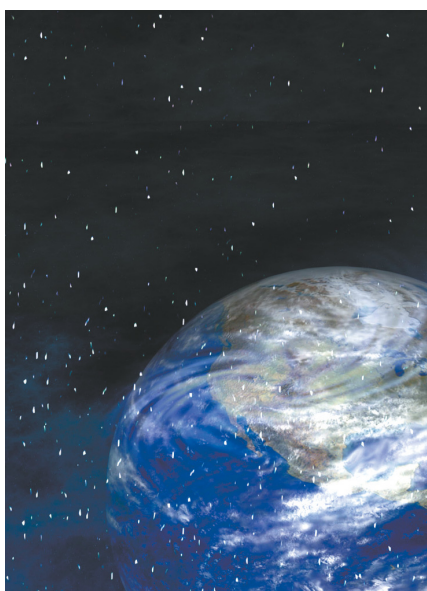
## 水は限りある資源

### ◆地球の中の使える水

いつでも自由に使える水、限りなくあると思っ  
ていませんか？

地球は、水の惑星といわれていますが、その水の約97%は海水で、淡水は約3%しかありません。しかも、淡水のほとんどは南極や北極の水で、私たちが使える水は湖や河川、地下水など、わずか0.01%にすぎません。

この水を、同じ惑星に住む植物や動物たちと分け合いながら生活や農業、工業などに使っているのです。



### ◆水不足に悩まされてきた高松市

高松市は瀬戸

内式気候に属し、

年間を通じて日

照時間が長く、

雨の少ない地域

です。雨は梅雨

と台風の時に

集中し、せつかく

降った雨も、川

が短く流れが急

なため、すぐに

海へ流れ出てし

まいます。その

ため、人々は昔から水不足に悩まされてきました。

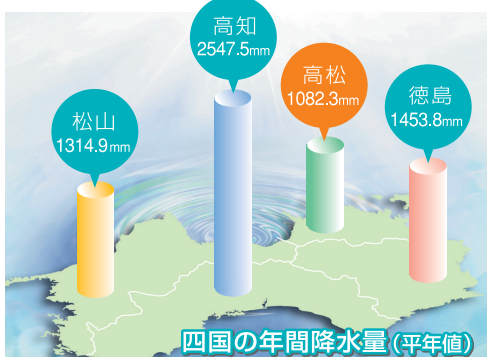
また、近年、異常気象により雨が極端に少なく

なり、渇水になる頻度が高くなってきています。そ

の対策として、新たな水資源の開発などを行っています

ですが、開発には時間がかかるため、まずは今ある

水資源を大切にすることが求められています。



四国の年間降水量(平年値)

## 水不足の象徴——ため池



ため池は、雨が少なく、川から豊富な水が取れない地域で、農業用の水を確保するために作られる人工的な池です。全国で一番小さな香川県に、約14,600個(全国三位)ものため池があります。また、ため池にまつわる民話・伝説も多く残され、水の大切さを今に伝えていきます。

〈高松市の代表的なため池の言い伝え〉

・三郎池「龍伝説」

・新池「矢延平六とひょうげ祭り」

・平池「いわざら」やら伝説」